

R8C/TinyおよびM16C/Tinyシリーズ用 データフラッシュドライバ（日本語版）リリースのお知らせ

R8C/Tiny およびM16C/Tiny シリーズマイコン用のミドルウェア製品であるデータフラッシュドライバ（日本語版）以下2製品をリリースしました。本製品は、無償で提供します。

- M3S-DATFA V.1.20 Release 1（スタンダード版）
- M3S-DATFB V.1.20 Release 1（スモール版）

1. 概要

データフラッシュドライバは、R8C/Tiny、M16C/Tinyシリーズマイコンに搭載されているデータフラッシュにデータを格納するためのブロック型デバイスドライバです。データフラッシュドライバのユーザーAPI関数をコールするだけで、データの更新およびデータの読み出しが可能です。本製品を使用すれば、データフラッシュを使用したデータ管理システムを容易に構築することが可能です。

2. データフラッシュドライバの特長

- (1) 組み込みシステム向けのコンパクト設計
Tinyマイコンの内蔵メモリのみを使用したデータ管理システムを実現可能。

ドライバが使用するメモリサイズ：

製品名	ROM	RAM（スタック含む）
M3S-DATFA	約3 KB	約100 B
M3S-DATFB	約2.5 KB	約100 B

- (2) 組み込み用のRTOSは不要
- (3) データフラッシュの書き換え（イレース）可能回数よりはるかに多い100万回以上のデータ更新が可能です。

- (4) データ更新中にシステムシャットダウンが発生した場合、更新前のデータに復旧することが可能です。
- (5) 関数インターラプト機能を使用してドライバ関数の中断および再開が可能です。
これによりデータフラッシュドライバが長時間CPUを占有することを防止することが可能です。また、データフラッシュドライバによるデータ更新中でもタイマ割り込み等による定期処理が可能です。
- (6) M3S-DATFAのみの機能として、複数の異なるデータサイズを持つデータを管理することが可能です。管理するデータ数およびデータ毎のデータサイズを静的に設定することが可能です。

各製品の仕様については以下のデータシートを参照ください。

M3S-DATFA

M3S-DATFB

3. 申し込み方法

上記URLの「無償版お申し込み方法」を参照してください。お申し込みの前に「無償版提供条件」を必ずお読みください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。